

# 茜町春彦

リトルゴースト  
桜虫退治1号

## リトルプレス桜蝦01号

著者：茜町春彦

目次：

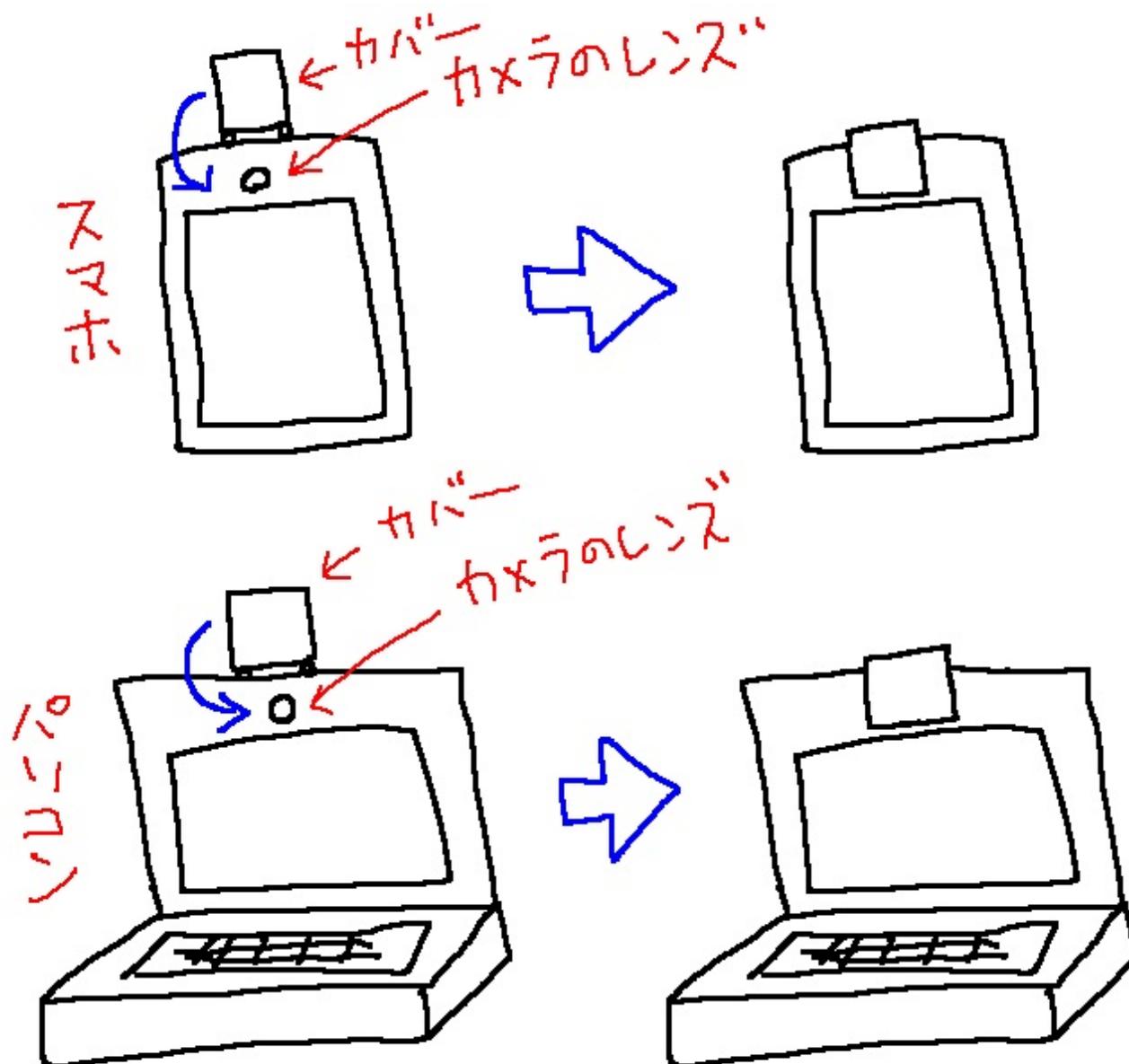
- エッセイ（技術）『スマホおよびパソコンの内蔵カメラのレンズを遮蔽します（ベータ版）』
- エッセイ（哲学）『コンピュータは、他者を差別する事が出来るのか若しくは差別を認識する事が出来るのか（ベータ版）』
- エッセイ（歴史）『天皇号と日本国号についての仮説（ベータ版）』
- エッセイ（万葉集）『鶏鳴露の訓み方（ベータ版）』
- 新作万葉集『第10頁』
- エッセイ（法律）『憲法を改正して革命権条項を新設します（ベータ版）』
- エッセイ（社会）『公的保証人制度義務化法案を国会に提出します（ベータ版）』
- 英文和訳『不思議の国のアリス（冒頭の詩）』
- 和文英訳『瓶詰地獄（冒頭の役場の文書）』

エッセイ（技術）

『スマホおよびパソコンの内蔵カメラのレンズを遮蔽します（ベータ版）』

著者：茜町春彦

概要：スマホやパソコンの内蔵カメラが遠隔操作されても、盗撮が出来ないようにする仕組みを解説します。



カメラのレンズを遮蔽するためのカバーを取り付けます。  
カバーでレンズに蓋をしておけば、盗撮を防御できると思います。

如何なものでしょうか。

《了》

エッセイ（哲学）

『コンピュータは、他者を差別する事が出来るのか若しくは差別を認識する事が出来るのか（ベータ版）』

著者：茜町春彦

コンピュータ言語には人称代名詞がありません。

LISPやPL/1についてはよく分かりませんが、多分、ないと思います。

日本語でも英語でも、人称代名詞がなければ、他者を差別できないような気がします。仮に、人称代名詞の「私・私達・あなた・あなた達・彼・彼女・彼達・彼女達」をすべて一般名詞の「ヒト」と呼ぶとしたら、他者を差別できるのでしょうか。例えば「私は彼等が嫌いだ」は「ヒトはヒトが嫌いだ」と云う事になり、「私たちは偉い」は「ヒトは偉い」と云う事になります。

コンピュータは自分自身が何者であるのかも認識できていないような気がしますし、人称代名詞のないコンピュータ言語を使用して他者を差別するプログラムを作成することも出来ないような気がします。多分、コンピュータは他者を差別できないし、差別を認識することも出来ないのだらうと思います。

如何なものでしょうか。

《了》

エッセイ（歴史）

『天皇号と日本国号についての仮説（ベータ版）』

著者：茜町春彦

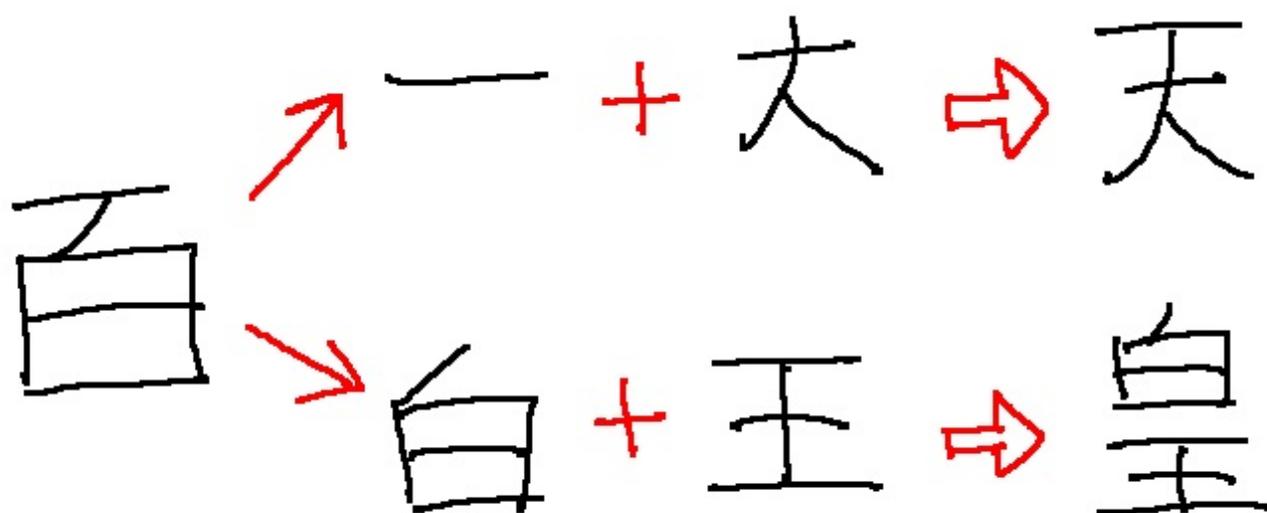
《仮に天智天皇と天武天皇が兄弟ではないとすると何が言えるのでしょうか》

日本書紀に於いて、天智天皇と天武天皇は、共に舒明天皇と齊明皇極天皇の実子となっています。しかし、天智天皇は実子だったとしても、天武天皇は齊明皇極天皇の連れ子だったような気がします。そしてその後に、舒明天皇の猶子となったのではないのでしょうか。そうであれば、天武天皇の実父は高向王となるでしょう。

高向王は用明天皇の孫のようではありますが、出自はよく分かりません。高向と云う名前から推測するに、百済系の渡来人の血統に属するのではないかと思います。もしかしたら、天武天皇の実母は齊明皇極天皇ではないかもしれません。高向王と別の女性の間にも生まれたのかもしれない。

すると、天智天皇と天武天皇は同母兄弟ですらない事になります。そうであれば、天智系と天武系の仲の悪さが理解できます。また、天武天皇の出自の悪さが原因となり、官人が集まらず、皇親政治を行なわらざるを得なかったのも理解できます。

天武天皇は、実力で権力を握ったけれども、実力だけでは有力豪族から「大王」とは認めてもらえず、仕方なく「天皇」と云う称号を創って名乗ったのだと思います。



《天皇号をどのようにして考案したのでしょうか》

高向王が百済系渡来人とすると、天武天皇は百済系の血統に連なっていると云う事になります。

天武天皇は、地名の「百済」から「百」の文字を取り出して、それを「一」と「白」に分解して、さらに「大」「王」と合成して、「一大」と「白王」つまり「天皇」という称号を考案したのだらうと思います。

《国号はどのようにして考えたのでしょうか》

大和国に在住している者が、大和国を太陽の昇る方角にあると表現するとは思えません。自分の居場所を方角で表現するなら、中央とか中心でしょう。

日本を「日本」と呼ぶようになるより先に、任那の日本府が存在していたと思います。百済から見て太陽の昇る方角の任那の百済人の住む地域を日本府と呼んでいたのだらうと思います。

天武天皇の先祖が任那の日本府からの渡来人であったとすると、大和の豪族に対抗するために、自分の出自を表す「日本」を国号と決めたのだらうと思います。

《天武朝から天智朝に戻っても、天皇号を使い続けたのは何故でしょうか》

天武朝が途絶え、天智系に王朝が戻った時に、桓武天皇は何故、称号を「大王」に戻さなかったのでしょうか。

たまたま高野新笠が百済系なので、桓武天皇も百済系と云う事では天武天皇と同じなので、「天皇」号を自分にピッタリだと考えたのではないかと思います。それが大王号ではなく天皇号を使い続けた理由だと思います。

如何なものでしょうか。

《了》

エッセイ（万葉集）

『鶏鳴露の訓み方（ベータ版）』

著者：茜町春彦

概要：万葉仮名の「鶏鳴露」は何と訓めるか？ 考えてみました。ただし上代特殊仮名遣は間違いであると仮定して居ります。

歌番号105の原文を引用しますと：

- 105 吾勢こ乎 倭辺遣登 佐夜深而 鷄鳴露尔 吾立所露之

（「わがせこを」の「こ」の漢字は「示すへんに古い」ですが、フォントが環境依存文字なので平仮名で代用しています）

「鷄鳴露」の訓み方ですが、ニワトリはコッコーと鳴くので「鷄鳴」を「ここ」と訓み、「露」は音で「ろ」と訓めば、「鷄鳴露」は「こころ」と訓めると思います。意味は「心」だと思います。

如何なものでしょうか。

《了》

新作万葉集

「第10頁」

著者：茜町春彦

概要：現代の出来事から主題をとり、万葉仮名で歌を1首詠みました。人物・団体等は全て架空のものです。

## 雜歌

---

或国民年金加入者詠、歌1首

明日香退歩矢完刻台当漁野乳酢出鱒込蛾王沢疑四手伊留内煮告解出粘菌幻学砲暗画蚊血左礼魔舌

エッセイ（法律）

『憲法を改正して革命権条項を新設します（ベータ版）』

著者：茜町春彦

官僚は、増税により公共事業への財源を確保して、自分達の天下り先を確保しようとしています。消費税の増税が阻止されれば即座に、年金の掛け金の値上げでも、カジノでも、あらゆる手段を使い国民から金銭を取り立てます。

民主党政権に代っても自民政権に代わっても、官僚は代りません。官僚は自分達の天下り先に都合の良い政策を続けることができます。

行政立法の法案では、官僚の利権のための法律が作られるだけです。まるで官僚に主権があるようです。政治家が官僚の操り人形になっている現状に於いて、政権交代があっても国民の意志が政治に反映される事はないと思います。

そこで、憲法を改正して革命権条項を新設します。そして、革命により官僚機構をすべて入れ替える事が出来るようにします。

- 第104条 革命権

日本国民は、革命権を保持する。

革命権の行使により、全ての国家公務員は罷免される。

如何なものでしょうか。

《了》

エッセイ（社会）

『公的保証人制度義務化法案を国会に提出します（ベータ版）』

著者：茜町春彦

市町村民は、市役所・町村役場に届け出ることにより、市役所・町村役場を自身の保証人に立てる事が出来る法律を制定します。

例えば、賃貸住宅を借りる場合、貸主から保証人を求められた時、市役所に一定の金額を預けるとその金額の範囲内で、市役所がその市民の保証人になる制度です。仮に50万円を預けておけば、50万円までの損害を市役所が保証すると云う事です。

如何なものでしょうか。

《了》

英文和訳

『不思議の国のアリス（冒頭の詩）』

翻訳：茜町春彦

原作：ルイス・キャロル

Translation into Japanese

"Alice's Adventures in Wonderland (the poem at the beginning)"

Translated by: Akanemachi Haruhiko

Original Author: Lewis Carroll

## Alice's Adventures in Wonderland

---

All in the golden afternoon  
Full leisurely we glide;  
For both our oars, with little skill,  
By little arms are plied,  
While little hands make vain pretence  
Our wanderings to guide.

Ah, cruel Three! In such an hour,  
Beneath such dreamy weather,  
To beg a tale of breath too weak  
To stir the tiniest feather!  
Yet what can one poor voice avail  
Against three tongues together?

Imperious Prima flashes forth  
Her edict "to begin it":  
In gentler tones Secunda hopes  
"There will be nonsense in it."  
While Tertia interrupts the tale  
Not more than once a minute.

Anon, to sudden silence won,  
In fancy they pursue  
The dream-child moving through a land  
Of wonders wild and new,  
In friendly chat with bird or beast ---  
And half believe it true.

And ever, as the story drained  
The wells of fancy dry,  
And faintly strove that weary one  
To put the subject by,  
"The rest next time ---" "It is next time!"  
The happy voices cry.

Thus grew the tale of Wonderland:

Thus slowly, one by one,  
Its quaint events were hammered out ---  
And now the tale is done,  
And home we steer, a merry crew,  
Beneath the setting sun.

Alice! A childish story take,  
And with a gentle hand  
Lay it where Childhood's dreams are twined  
In Memory's mystic band,  
Like pilgrim's withered wreath of flowers  
Plucked in a far-off land.

## アリスの冒険した奇妙な国

---

総べては素晴らしき午後のこと、  
全くゆっくりと舟をこぐ、  
両舷の櫂を技量不足ながら、  
細い腕は往ったり来たり、  
小さな手が空しく動くのは、  
我らの彷徨を導くが為。

嗚呼、無慈悲なる三人に、斯様な時の狭間、  
斯様に夢見る空の下、  
物語を乞われるも、我が吐息は弱く、  
小さな羽の揺らすも能はず、  
男一人、哀れな声で何をいえば、  
三人の言葉に対抗できようか。

堂々とした長女は、前へ出て命令する、  
「お始めなさい」  
優しい口調で、次女は望みを言う、  
「ナンセンスな話がいいわ」  
ずっと、三女は話の邪魔をする、  
一分に一度とまでは云わないが。

間もなく、突然に、静かになった、  
空想の中、三人は追って行く、  
あの夢の子を、巡り行く国には、  
荒々しくも新しい奇妙の数々があふれ、  
鳥や猛獣と、親しく、おしゃべり・・・  
半信半疑ながらも。

いずれ、話は尽き果て、  
空想の泉は涸れる、  
疲れた男は、僅かに抵抗を試みる、  
話をはぐらかす為に、  
「残りは次回に・・・」「今が次回でしょ」  
歓喜の声が上がる。

斯様にして出来たのが、奇妙な国の物語、  
斯様にして、ゆっくりと、ひとつずつ、  
筋の通らない事件を叩き出した・・・  
そして、今、物語は終りを迎える、  
我ら愉快的乗組員は、帰路へと舵を取る、  
沈みゆく太陽の下。

アリスよ、お伽話を持って行ってくれ、  
そして、優しい手で、  
重ねて置いてくれ、幼い頃の夢が紡いである、  
記憶の中の神秘的な領域へ、  
巡礼者の枯れた花輪のように、  
遠く異国の地で摘み採られた。

## 探究（最後の2行の比喩表現について）

---

最後の段は「アリスに、この物語を大人になっても覚えていてくれ」と言っていると思いますが、そこに使われている比喩表現「like pilgrim's withered wreath of flowers plucked in a far-off land」の意味が、よく分かりません。「遠い異国で摘まれた巡礼者の枯れた花のリース」のように覚えているとは、どの様な覚え方なのでしょう。ただ単に、行数を合わせる為の水増しの文章なのでしょう。

発音からの憶測ですが、仮に「pilgrim's withered」は「Grimm Brothers」のメタファーであるとするれば、この比喩表現は「グリム兄弟がドイツで集めた童話のように」と解釈できると思います。

つまり、最後の段は「アリスに、大人になっても、不思議の国のアリスをグリム童話と同じように記憶しておいてくれ」と云うルイスの希望を暗喩として表現したのだと思います。

如何なものでしょうか。

《了》

和文英訳

『瓶詰地獄（冒頭の役場の文書）』

翻訳：茜町春彦

原作：夢野久作

Translation into English

"The Bottled Hell (the official correspondence at the beginning)"

Translated by: Akanemachi Haruhiko

Original author: Yumeno Kyusaku

## 冒頭の役場の文書

---

拝呈

時下益々御清栄、奉慶賀候。陳者、予てより御通達の、潮流研究用と覚しき、赤封蠟附きの麦酒瓶、拾得次第届告仕る様、島民一般に申渡置候処、此程、本島南岸に、別小包の如き、樹脂封蠟附きの麦酒瓶が三個漂着致し居るを発見、届出申候。

右は何れも約半里、乃至、一里余を隔てたる個所に、或は砂に埋もれ、又は岩の隙間に固く挟まれ居りたるものにて、よほど以前に漂着致したるものらしく、中身も、御高示の如き、官製葉書とは相見えず、雑記帳の破片様のものらしく候為め、御下命の如き漂着の時日等の記入は不可能と被為存候。然れ共、尚何かの御参考と存じ、三個とも封瓶のまま、村費にて御送附申上候間、何卒御落手相願度、此段得貴意候

敬具

月 日

× × 島村役場 (印)

海洋研究所 御中

## the official correspondence at the beginning

---

From: XX Island Village Office

To: Marine Research Institute

Date:

Gentlemen:

With regard to your previous notice, we would advise as follows:

We have already requested that the inhabitants of this island should report to this office immediately if they find the beer bottles sealed with red wax which are apparently for the use of the study of tidal currents.

Recently, it was found and reported that three beer bottles sealed with wax had washed ashore at the south side of this island. These bottles were buried in sand or stuck fast in a gap between rocks. They each were apart in a distance of approximately 2 kilometers or 4 kilometers.

It seemed that the bottles had washed ashore long before. And, their contents appear to be the torn sheets of notebook and not to be the official post cards as noticed. Accordingly, please note that it is impossible to make the entry of dates of the washing-ashore, etc, as required.

For your information and reference, however, we are sending you the package of the three sealed bottles separately at the expense of our village office. We hope you will accept them and those will satisfy you.

Very truly yours,

SIGNATURE

## 後書き

---

夢野久作について：

二十世紀前半に活躍した小説家です。

1936年没

ルイス・キャロルについて：

イギリスの作家、数学者です。

1898年没

参考文献：

次の文献を参考にしました。

- 夢野久作全集8：1992年1月22日第1刷発行 夢野久作著 ちくま文庫
- ふしぎの国のアリス：2010年3月25日第30刷発行 講談社英語文庫
- 萬葉集一 新日本古典文学大系1：1999年5月20日第1刷発行 佐竹昭広、山田英雄、工藤力男、大谷雅夫、山崎福之校注 株式会社岩波書店
- 新コンサイス和英辞典〈革装〉第3刷：昭和50年9月15日第1刷発行 株式会社三省堂
- ジーニアス英和辞典 第5版：2014年12月25日第1刷発行 株式会社大修館書店
- 総合英語Forest(7th Edition)：2014年2月20日第7版第4刷発行 石黒昭博監修 株式会社桐原書店
- Longman Dictionary of Contemporary English: Sixth edition 2014 Pearson Education Limited
- Longman Thesaurus of American English: First published 2013 Pearson Education Limited

CG画像：

次の画像処理ソフトウェアを使用しました。

- ArtRage 3 Studio Pro アンビエント社
- Photoshop Elements 10 アドビシステムズ株式会社

著者：

茜町春彦（あかねまちはるひこ）と申します。

2004年より活動を始めたフリーランスのライター&イラストレーターです。独自のアイデア・考察を社会に提示することをミッションとし、平等で自由な世界の構築を目指して創作活動を行なっております。また、下記WEBサイトに於いても、デジタル作品を公開しております。

- YouTube （動画共有サイト）

- Google+ （ソーシャルネットワークサービス）
- 楽天Kobo電子書籍ストア （ネットショッピングサイト）
- はてなブログ （WEBLOGサービス）

その他：

製品名等はメーカー等の登録商標等です。

本書は著作権法により保護されています。

2016年12月8日発行

## リトルプレス桜蝦01号

<http://p.booklog.jp/book/111807>

著者：茜町春彦

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/akaneharu/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/111807>

電子書籍プラットフォーム：パプー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社トゥ・ディファクト